

# はたはた

八峰町教育長 千葉良一書

# Vol. 6

八峰町関東ふるさと会 会報

2015年10月発行



## 八峰町10周年を迎えて更に絆を深く

八峰町関東ふるさと会会長 神馬 信一



会員並びに八峰町の皆様方には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃よりふるさと会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度、八峰町は、平成の大合併で秋田県内の最後として誕生してから、10周年を迎える節目の年だと伺っています。平成18年3月27日に始動してから6ヵ月後に、八峰町の前途を祝して式典を行った1週間後には、旧峰浜庁舎が全焼するという予期せぬ事態が発生しました。

以来、幾多の困難を乗り越えて、3年後の平成21年9月24日には、世界自然遺産白神山を背に雄大な日本海を望む自然環境に「田園の庁舎」というイメージの濃い庁舎が供用を開始して7年が経過しました。八峰町誕生10周年と併せましておめでとうございます。因みに当ふるさと会も7年目を迎え、6名の新役員が加入して活発な運営を期待し、新庁舎と共に年輪を数えていくこととなります。

当ふるさと会の上部団体である、首都圏秋田県人会連合会は昨年、創立60周年を迎えました。又、ふるさと秋田では、各県持ち回りで行われている国文祭が秋田県内各地で1ヵ月間行われました。

10月4日の開会式には、皇太子様をお迎えして「第29回国文祭・あきた2014」が開催され、首都圏から200余名が参加して開会式を盛り上げました。

これからのイベントは、10月12日に芸能大会、11月25日に浅利香津代氏を迎え

て講演会、来年1月には秋田県との共催で在京秋田県人新春交歓会等が主な催物として予定されています。

さて、近年八峰町は首都圏で開催するイベントに参加する機会が多くなり、町と会員の絆が深まって喜ばしく思っています。首都圏での最大イベントである「秋田・鳥取うまいぞ！ハタハタフェスティバル」は、毎年行われております。今年は12月5日と6日に築地本願寺広場で予定しています。八峰町の出し物は、オール八峰町の食材を用いた「ハタハタ入りシヨツル鍋」で、一昨年は優勝、昨年は残念ながら準優勝でした。今年は優勝を目指して頑張りますので応援に來て下さい。

更に、首都圏PRイベントとして、秋のPRを10月2日～4日に、冬のPRを12月18日～20日に、それぞれ3日間、阿佐ヶ谷の商店街で、試食や特産物の販売予約を行う予定です。秋には果物・野菜類、冬にはハタハタ等を目玉に考えていますのでお出掛け下さい。

故郷を離れて、首都圏でのイベントに参加したり、故郷でのイベントに積極的に参加することで、会員同士、八峰町、秋田県との絆が更に深まっていくことでしよう。

最後になりましたが、会員並びに八峰町の皆様方のご健勝と、八峰町の益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。



## 地方創生元年

八峰町長

加藤 和夫



八峰町関東ふるさと会の皆さん、お変わりありませんか。  
日頃、ふるさとを愛し、多大なご支援を頂いていることに心より感謝申し上げます。

さて、今年、八峰町誕生から十年目、戦後七十年という節目の年であり、昭和三十年から四十年代にかけて、「金の卵」など言いながら地方の人材を大量に都市部へ運んだ集団就職列車が終了してから四十年目となる年でもあります。

実は、地方ではこの頃から人口減少が始まり、特に若い人が都市部に流れ続けたことから、必然的に少子化も止まらなくなりました。  
今年度在籍の小学生は二五九名、中学生一七六名、合わせても四三五名と、かつての一分にも満たない数となつてまいりました。このため、来年四月には峰浜地区二小中学校は、峰浜小学校として統合、中学校は、八峰中学校として全町一つに統合することになりました。

対象の四校は、十月から三月にかけて閉校式が行われますが、ふるさと会の皆様や学んだ母校を無くすることは誠に申し訳ありませんが、これまで築いてこられた歴史や伝統は新しい学校に引き継ぎ、生かしてまいります。

このような地方の現状から国では、今年度、地方創生元年として、地方の人口

減少に歯止めをかけるために、地方の産業を振興させて雇用確保しながら、定住を促進することや都市への人口集中を止め、地方への移住を図ること等を打ち出し、全地方自治体に、独自に人口減少の原因分析を行い、現状を打開する総合戦略を立てるよう求めています。

町では各界各層からなる総合戦略会議で秋までに策定する予定であります。勿論、積年の結果を一挙に挽回する特効薬を見つけることは、至難の技であり、今年をふるさと創生元年として町民の総力を結集して人口減少に立ち向かってまいります。

ふるさと会の皆様からも移住を含め八峰町民と一緒に考え、行動して頂き、持続できる町づくりにこれまで以上のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、関東ふるさと会の益々のご発展と会員皆様のご健勝、ご多幸、ご活躍をご祈念申し上げます。



八森中学校 (ホームページより)

## 「ふるさと」創生

八峰町議会議長

芦崎 達美



最近、J・Rのテレビコマースシャルに白瀑社の滝が放映され、話題となっております。これは、J・Rの東北キャンペーンのひとつで「いくぜ東北」のタイトルで放映され、女優の木村文乃さんが白瀑の滝つぼに入る姿を夏休みの三人の子供たちが後ろから見つめるというものです。

この子供たちは峰浜中学校の生徒が演じていて、その素朴な表情が女優「木村文乃」さんのかわいらしさを一段と引き立てています。そして、もう一つ龍角散のコマーシャルには、佐竹知事と俳優の香川照之さんが登場し、八峰町のカミツレ畑を訪問するシーンが出てきます。

今、八峰町が全国的に紹介され、その知名度が上がることは大いに結構なことです。

秋田県は、全国でもトップクラスの少子高齢化県であり、わが八峰町もその進行が加速化し、平成二十六年度には三つのこども園が統合しました。今年度末には二つの小学校と二つの中学校が統合し、町内には小学校が二校、中学校が二校となります。

今、人口減少社会の進行に伴い、消滅の可能性のある自治体を取り沙汰されている中、国は対策として「地方創生」を掲げ、市町村は独自の施策を展開するための地方創生の戦略計画を策定しつつあります。流出する人口を止めるには、町外から定住する人口を呼び込むには、出生率を上げるための対策等その対策と課題は山積みとなっています。議会としても、町と共に八峰町の継続的な発展のため努力していく所存であります。

来る十一月十五日には第七回八峰町関東ふるさと会総会が開催されると伺っております。その際には会員の皆様と深く懇談し、親交を深めたいと願っております。

今後とも、都市と地方の交流を深め、八峰町発展のために誠心誠意取り組んでまいりますので、ふるさと会の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様のご健勝と関東ふるさと会の益々のご繁栄をご祈念し挨拶といたします。



峰浜中学校 (ホームページより)



# ハタハタフエスティバルが育んだ 「ふるさとの絆」

八峰町産業振興課長 米森 伴宗



「ふるさとの絆」。それを実感したのが、築地本願寺で開催されているハタハタフエスティバルでした。3年前、当町の名産である「ハタハタ」のPRのため、ハタハタ料理を来場者に振る舞おうということになり、考えた末、ふるさと会の神馬会長と成田幹事長に頼み込み、ふるさと会から協力してもらうことが実現。提供するのは、2日間で「つみれ鍋」3000人分、「ハタハタのしょつたる鍋」4名ずつ来ていただいた。

仕込み開始。まずは長ネギ切り。これが大変だった。屋外で仕込みが出来ないため、県に頼み込み、県知事の控室で何百本の長ネギ切り。皆、ネギのエキスでウサギのように目を赤くして、ひたすら長ネギ切り。県知事が来たので部屋を空けたのはいいが、ネギの臭いが充満して、県の職員に怒られる始末。皆目が赤かったため、反省しているように見えたので結果オーライ。

調理開始。「しょつたる鍋」の調理経験者ゼロ。しかも常識を超える莫大な量。大鍋相手に悪戦苦闘するも完成品は天下一品の味。

さとの会の方々にお願いして。準備した鍋は早々と完売。大成功を納めた。終了後の反省会、これがまたとても楽しい。話せば話すほど、昔からの知り合いのようになり、妙に馴染む。安心する。これが「ふるさとの絆」だと確信した。

この時から、ふるさと会は、ハタハタフエスティバルの「しょつたる鍋」担当になった。次の年から始まった「ハタ1グランプリ」では見事優勝。昨年は残念ながら準備不足だったが、確実に腕を上げている。その他にも、首都圏で行う特産品販売やPRには、少なくとも年3、4回は来て頂いている。回数を重ねる毎に、どんどん「ふるさとの絆」が深くなっている。

今年のハタハタフエスティバルは、12月5日、6日に築地本願寺駐車場で開催されます。懐かしい訛と、懐かしい味で歓迎します。皆さま、ぜひ「ふるさとの絆」を確かめにきてください。

いよいよ「鍋」の振る舞い。「秋田県八峰町から来ました。本場八森ハタハタ自慢のしょつたる鍋です」この時の、特に女性は元気が良かった。地元を誇りを持っているのがわかる。良かった、ふる

さとの会の方々にお願いして。準備した鍋は早々と完売。大成功を納めた。終了後の反省会、これがまたとても楽しい。話せば話すほど、昔からの知り合いのようになり、妙に馴染む。安心する。これが「ふるさとの絆」だと確信した。



昨年は一昨年優勝のトロフィーを返還

## 終戦の頃を想う

石嶋 喜直(神奈川県鎌倉市在住)  
(岩館出身)



今年には戦後70周年の記念の年に当たると、世間はいろいろ騒がしいが、あの終戦の年に岩館国民学校の1年生に入学して間も無かった私達も、それだけ歳を重ねて、相応の歳になったという事でもある。近頃は、直近の記憶に少々怪しい処が出て来たが、それに反比例するうちに、昔の古い記憶が鮮明になって来て、これも歳の所為かと納得している。

終戦の年の記憶というと、人それぞれと思うが、私にとっては、先ずはあの天皇陛下の玉音放送だ。難しい日本語の上に、酷い雑音のラジオで、殆んど聞き取れなかったが、ただ「耐え難きを耐え、忍び難きを忍び」という部分だけは理解できたので、周りの大人の人達の表情から、日本が負けたんだと思ったのを覚えている。その時、皆が集めた学校の校庭が、妙に白っぽくて、猛烈に暑かったことが忘れられない。

最近、或る作家の戦争中の疎開先での体験記を読んでいた。その中に「土崎の空襲」の話が出ていた。その作家は梨畑の中に逃げ込んで難を逃れたと言うが、私は、それを岩館の海沿いの道端に立って、大人の男の人達と一緒に眺めていたのだ。海に向かうの水平線上に黒々と横たわる男鹿半島の付け根の辺りに、それ迄見た事のないような大きな火柱が立ち昇って、灯火管制下の真つ暗闇に慣れた眼には、一際明るく輝いて見え

た。その後、爆撃機は眼の前に聳える寒風山を飛び越えて、半島の先端で編成を組み直して悠々と還っていったのだ。これが終戦の前日の8月14日の出来事だったとは、この作家の話で初めて知った。あの火柱の下で250人を超える人々が命を落とすという。あと1日過ぎていたら死なずにすんだものと、あと1日の不条理を思わずにいられない。

あの岩館小学校も、数年前に廃校になったとの便りである。故郷の風景も昔のままではないし、友人達も歯の歯が欠けるように去って逝き寂しい限りである。それでも、いやそれだからこそ、JRのポスターなどに故郷の写真を見つけたりすると、胸の内に熱いものが込み上げて来るのを禁じえない。五能線の電車が、岩館の小入川鉄橋を軽快に渡る写真などには、涙腺が緩んでしまう。最近、特にこの傾向は強くなっていくようである。又、このような思いは、私一人ではないだろうと思う。そんな思いの人達と語り合い、お互いに励まし合えるこの「ふるさと会」は本当に有難いし、ますます盛んになって欲しいと思う。故郷の更なる元氣とこの会の盛況を願うや切である。



## 東日本大震災被災のその後

豊田 康雄(宮城県東松島市在住)  
(浜田出身)

八峰町関東ふるさと会々員の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

私は浜田地区(後に中浜へ転居)出身で、現在は宮城県東松島市に居住しております。先の震災で、我が家は津波により50cmほどの床上浸水となりましたが、幸い怪我ひとつなく現在に至っております。皆様方からは一方ならないご支援をいただき、改めて御礼を申し上げます。この度、会報へ投稿の機会を得ましたので、最近、私の周りで目にする震災からの復興状況等について、簡単に紹介いたします。

当日のいつ終わるとも知れない激しく長い揺れの割には、倒壊した家屋はあまりありませんでした。ただ、津波の後に残った黒い泥は、腐った海草臭のする粘度の高い泥で、その処理にはほとほと手を焼きました。今でも庭の片隅を覗くと、亀甲型に乾いた泥を見ることができ、震災から1年もすると、住民やボランティアの方たちによって植栽された草花が芽を吹き、見る度に穏やかな気持ちになったものです。また、普段は通らない路地を歩いてみるといつの間にか家が建て替えられ、別の地区に入り込んだ錯覚に陥ることもありました。しかし、車を5分も走らせると、復興もまだ道半ばで、所によってようやく緒に付いたばかりという感じです。実際、近隣の女川町や

南三陸町は町中心部全体をかき上げ工事中で、町民にとっては、期待と同時に、「いつ完成するのか?」という不安の声もあるのではないかと思います。

「復興の楯音が聞こえる」という表現がありますが、現在の建設作業は随分と静かで、洗練された印象です。ただ交通渋滞は如何ともしがたく、通勤帰宅時間帯ののろろ運転には辟易します。

公営の復興住宅の多くは集合住宅で、着々と整備されていますが、希望通り入居できない人も多いようです。家を失った人の多くは一戸建て住宅で暮らしていました。集合住宅に初めて入居する人は、その慣れない生活様式に戸惑うことも多いのではないのでしょうか。

私は震災当日から10日間ほど高台にある小学校に避難していました。厳しい状況の中、避難者は互いに励まし合い、しかし悲嘆にくれてばかりではなく、明るく前向きに過ごしていました。避難者が修復の終わった家に帰宅したり、他の避難施設へ移動する等、その数が段々と減ってきた頃、誰からともなく、「同期会を創って、毎年この日に会おう」ということになりました。皆さん大賛成で、今年で4回目の同期会を厳粛にも楽しく行いました。また、家を建て替える同期生には完成後に皆で伺い、臨時の同期会を行つているところです。震災ではかけがえのない多くのものを失いましたが、このように、生涯の友とも呼べる人間関係を得たことも事実で、人生の悲しみや喜びを実感する今日この頃です。

## 我が人生

八峰町関東ふるさと会幹事 本多 義春  
(東京都目黒区在住)  
(内荒巻出身)

ふるさと会幹事として自己紹介を兼ね、私の人生についてお話しします。

私は、昭和23年埴川内荒巻の農家に生まれ、埴川小・中学校・能代工を卒業し、昭和42年「日鉾船川製油所」へ入社した。峰浜で成人式を終え、戸田市へ転勤後退職、警視庁に入り平成21年定年退職した。

能代工では、硬式野球部と陸上部を経験したが退部、2年生になってどうしても野球をやりたい一念で軟式野球部に入った。3年生の夏(昭和41年)、全国軟式野球大会奥羽地方予選の準決勝で対弘前工業と延長18回引き分け、翌日再試合も延長11回の末勝利、決勝戦も勝ち抜き私は2日間で38イニング投げ切った。念願の「第11回全国軟式野球大会」(大阪)へ奥羽代表として初出場した。私は投手、4番で出たが初戦を飾ることができなかった。

仕事関係は、昭和42年4月「日本鋳業(株)船川製油所」(男鹿市)から誘われ入社した。同社で勤務した中で特に思い出があるのは、日鉾船川労組青年部代表として代々木の東京オリンピック青少年センターで開催された同盟系労組主催の全国生産性向上青年研修会へ参加したこと。昭和44年1月峰浜での成人式(成人代表で発表)を終えた3月「日鉾中央研究所」(戸田市)へ転勤した。以前からアメリカに憧れていたので、退社後の自由時間



は「神田外語学院」に通い英会話の勉強していたところ、知人の紹介で米空軍将校が経営する横田基地沿いの「免税店」で働くことになった。研修会参加・成人式の発表・将校と生活した経験等が口下手・無口な性格を前向きにし、警察官になった原点だと思ふ。そして昭和47年(23歳)警視庁に入り1年間中野警察学校で学び一線に出、高輪警察署を振り出しに約36年間主に警備公安だった。

家庭的には、27歳の時、2つ年下で峰浜強坂出身の中川信子と鈴木由一先生夫婦(八森)の仲人で結婚、2人の子供に恵まれた。妻には仕事柄苦勞の掛けつばなしのまま、その妻も五十半ばで子供の晴れ姿を見ることなく病でこの世を去った。

健康的には、定年退職後年1回人間ドックを受けていた。しかし5年前「前立腺初期がん」と告知され全摘手術をした。今は転移もなく健康的に問題はない。前立腺がんは年々増えているそう。60歳過ぎたらぜひ検査をするようお勧めしたい。

最後に若い方々が積極的に参加出来る「ふるさと会」を目指して尽力したい。



## あきた国文祭応援ツアーに参加して

八峰町関東ふるさと会副会長 麻木 固磨  
(東京都足立区在住)

(中浜出身 旧姓 小玉)



昨年10月4日～11月3日まで、秋田で第29回国文祭が開催された。会員の皆様は国文祭をご存知でしたか？私はこの行事が毎年各県で行なわれていた事、全然知らなかったのです。簡単に言うと国民体育祭はスポーツの祭典で、国文祭は文化（音楽・美術・伝統芸能等）の祭典だと初めて知りました。

秋田の文化を全国にお知らせするいい機会だったのです。そこで私達「首都圏秋田県人会連合会」では国文祭を応援する為に「国文祭2014応援ツアー」を計画、ふるさと訪問もしようと参加者を募り、50数名の参加で実現しました。10月4日の開会式は伝統芸能、舞踊、大いなる秋田の大合唱を堪能、民謡王国の本領発揮で大盛り上がり、素晴らしい演出効果に胸がジーンと感動、参加して良かったと心底思えました。

翌日は、参加者からの希望で日本海に面した県境の我が町、八峰町の訪問でした。秋田市からバスで約2時間、杉木材でできている役場は素晴らしく、そこに企画財政課長の須藤さんが待っていて、その後のガイドもすべてこなしてくれました。白澤神社、岩館海岸、お殿水を回り、昼食はいさり火温泉ハタハタ館で。加藤町長はじめ役場職員の皆様の歓迎で、お膳からはみ出すほどのハタハタずくしのご馳走に舌鼓、町長から地酒「白瀑」の差し入れを受け、雰囲気

も最高に盛り上がり、参加者の中からは民謡で御礼の披露もあったりで、八峰町の人達の心の優しさが伝わるおもてなしに一同感激でした。そんなことで神馬会長も私も鼻高々でした。

翌日は三種町キルトフェスタバル、井川町彫刻展、湯上市の写真展を見学、各々土地の特長を生かした文化、交流会で歓迎を受け、3日間のツアーを無事終え、帰宅の途についたのです。

今回、秋田での国文祭ふるさと訪問ツアーでの感動は忘れることができない良い思い出となり、益々の郷土愛、絆が深まりました。



八峰町庁舎前にて参加者一行と

## ふるさとの人々が集まると 不思議にパワーが生まれる

八峰町関東ふるさと会新幹事 須藤 正喜  
(東京都練馬区在住)

(岩館出身)



本年の7月4日(土)に上野駅近くのホテルで、八森中学校昭和45年卒の同窓会が行われた。同会は「ぶりっ子の子の会」と命名し、例年7月の第一土曜日に開催しており、平成元年の第一回から本年で27回を数える。

本年の参加者は女性が9人、男性が10人の総勢19名であった。加賀谷君と武田君の2名は、わざわざ八峰町から参加してくれた。他は栃木、茨城、千葉、埼玉、東京と首都圏在住の人が中心である。

ふるさと会の幹事になって同期の中では、白木仁君が早くからふるさと会の幹事として活躍してくれていたが、本年から塚本康子(旧姓山本・立石出身)さんと飯田良子(旧姓山本・茂浦出身)さんと私の3人が加わった。新人3人とも、ささやかなりとも貢献していきたいとの思いを同じくしている。

18歳で上京して、はや40数年が過ぎた。これまでは自分の仕事・生活の課題に追われて、手一杯だったように思う。ふるさと会へ参加するたびに、幹事の皆さんの労苦への感謝に加えて、申し訳ないという思いが年齢と共に強まっていた。

いよいよ自分たちが汗をかく時が来た。首都圏に住まわれている八峰町出身の皆さんが、故郷のにおいがある、心地よい感激のある、翌日への活力がわく1日を過ごせるように、ふるさと会開催に向けて微力ながら活動していきたい。

人は、知人の元気な姿を拝見するだけで元気が湧いてくる。加齢とともにその度合いが増す。不思議なものである。ふるさと会へは参加できない田舎の親へ知人の近況を報告すると、懐かしそうに聞いてくれる。ふるさと会は、多くの人に心と頭の思いがけない活性化をもたらしてくれるような気がする。今後も課題を乗り越えて継続すべきだと、改めて強く思う。



27回目の中学同窓会。前列の左から3人目が飯田良子さん、左端が私(須藤)、後列右端が塚本康子さん、右から5人目が白木仁君(2015年7月4日上野のホテルにて撮影)。



# 八峰町関東ふるさと会ホームページが できました

八峰 ふるさと会



検索

URL <http://happouchou.com/wp/>



パソコン画面



スマホ画面

- 会員／非会員問わず誰でもご利用可能
- スマホでも見やすく操作しやすい画面

## 〈主な機能〉

- お知らせ  
(総会以外にもふるさと関連の各種イベントをお知らせ)
- 年間スケジュール
- 掲示板  
(趣味や同級会などのトピックスを立ててコミュニケーションにご利用ください)
- お問い合わせ
- 新規加入申込み
- 総会写真アルバム
- 関連リンク集(出身小中高校のHPもあります)

## ふるさと会ホームページ開設にあたり

八峰町関東ふるさと会幹事 白木 仁  
(千葉県市原市在住)  
(中浜出身)

昨年ふるさと会の役員会で大失敗してしまいました。当ふるさと会積年の課題である「若い会員の増加」に対して、ホームページ(以後HP)を作ってはどうかと発言。じゃ誰が作るのか↓誰も手を上げ無い↓皆んな私を凝視、つまり言い出しっぺのお前がやれと。迂闊にも言い出しっぺの法則に自ら嵌ってしまったのです。

とは言っても、私はソフトウェア開発の知識ゼロ!でも言った手前何とかせねばと思い、ネットを検索したらブログラミング不要でHPを作成できるツールがありました。費用は数万円から無料までありましたが「金は掛けられない」と言う無言の圧力から無料ツールを選択。本屋へ行ってそのツールの解説本を見て買って買ってしまったが、無料ツール故か予想外に難しく良く分からない。ネットで調べて試行錯誤・悪戦苦闘しながら何とか形ができたのが5月の連休明けで

した。

そもそも、これに取り掛かる時間を確保するのが大変でした。平日は帰宅がほとんど23時過ぎなので不可。土日は趣味の山歩きやウォーキング、レーシングカートで空き時間がほとんど無いのですが、土日の僅かな空き時間や、5月の連休は趣味を諦めほとんど家に閉じこもりでHP作成に専念しました。そしてやっと入れ物ができました。今は完成イメージを役員の皆さんに見てもらおう為にダミーのコンテンツが入っていますが、今後は本物のコンテンツに差し替えていきます。

ところで、「若い会員の増加」にはどういうHPでなければならぬか、を考えました。会からのお知らせがメインの一方通行的なHPでは目的を達成し得ないと思います、次の設計方針を建てました。

- 一、会員非会員の区別無く誰でもがログイン無しで利用できる敷居の低さ
- 二、誰もが自由にテーマを作りコミュニケーションできる場の提供
- 三、会への問い合わせや加入申込みまでHPで簡単化
- 四、スマホでも見易い画面設計
- 五、スパム投稿に荒らされない為のセキュリティ確保

実際どんなHPになるのかはリリースしてのお楽しみです。リリース時期は9月頃を予定しています。果たしてこれで若い会員が増加するのか…。





## 地元食材を活用した食品開発で 郷土へ貢献したい

（株）光風舎 白神カルチャールーム所長 池田 忠男  
（八峰町在住）



平成25年11月17日（日）、八峰町関東ふるさと会へ、八森中学校12期生有志29名が出席させていただきました。

私達田舎者がちよつと遠慮気味にしてきたところ、司会の方が、ご出席の皆さんへ私達同期生をご紹介してくださいました。

幹事さんをはじめ、ご出席の方々の暖かいおもてなしと気配りにより、初めての出席とは思えないほど気持ちの和やかになりました。皆さんと会話し、都会で活躍の方々と触れ合い、勇気を貰い大いに勉強になり、生涯学習の大切さを痛感しました

（未だ心に残っております。昨日のような気がします）。チャンスがあれば、もう一度出席したいと思えます。私は生涯学習のテーマの一つに、地場で豊富な食材の商品開発に取り



大好評の「はたはた寿司講習会」の様子



作り方	
①下処理	
(1)はたはたの頭を切り落とし、内臓を丁寧に取り除いたら樽に入れます。 *オス：白子と内臓を取り除く。 *メス：ブリコを残して内臓を取り除く。	
(2)次に、ポウルに並塩と塩もろみを入れよく混ぜます。それを樽に入れ、はたはたと一緒に全体によく絡めます。	
(3)そして20kg（はたはたの2倍の重さ）の重石で一昼夜（24時間）漬け込みます。	
②酢漬け	
(1)漬け込み後、ぬめりと血合いをとるため一匹ずつ水洗いし、ザルで水切りをします。	
(2)水を切ったはたはたを樽に移し、漬け込み用の酢水を入れます。（5倍酢4本に水5.7ℓを加えたもの）→目安は5倍酢1に対して水4倍の分量	
(3)はたはたが出てこないように落とし蓋をし、軽く重石をして一昼夜漬け込みます。	
(4)漬け込みが終わったらはたはたをザルに上げ、水気を切ります。	
③本漬け	
(1)お米一升を炊いたご飯をポウルに入れ、約50℃くらいまで温度を下げます。	
(2)ご飯にみりん360ccを入れ、ヘラでご飯を切るような感じでよく混ぜます。	
(3)その後、麴300gを入れよく混ぜます。	
(4)樽の底に笹の葉を敷いた上に、はたはたを並べます。その上に、ご飯・ニンジン・ショウガ・ふのり・笹の葉の順に交互に積み重ねます。	
(5)そこに、50kg（5倍の重さ）の重石をして、3週間漬け込んで完成です。	

組んでいます。少しでも地域に貢献できればとの思いで、試行錯誤を重ねてまいりました。

例えば「大根ジャム」「大根あんこ」等、誰にも思いつかないもの：（編集部注：最下段にレシピを紹介しています）。

中でも、八峰町特産の「八峰白神塩もろみ」を使用した「はたはた寿司」はお勧めです。漬け込みの短縮と生臭さを抑えてうま味を引き出す相乗効果が期待されております。

昨年行なわれた、八峰町の「はたはた寿司講習会」（事務局：八峰町産業振興

課）では、開発者の私が講師を務めました。定員がオーバーするほどで、大好評でした。

昔から地元の人達は、「はたはた寿司」は4〜5日くらいの作業工程で4日間漬け込まないと寿司にならない」と言っていました。そのため、2〜3週間間で寿司になると説明しても、誰も信用してくれませんでした。

ある日、私が作った「塩もろみ」を使った「はたはた寿司」を地元の方々に試食していただいたところ、「うーん、この寿司は最高！旨い！！」と言って認められたのです。

その時、私は、めげることなく努力を続けてきて良かったと、胸に熱い思いがこみ上げてきました。

このような挑戦ができたのは、多くの関係者の方々からご支援、ご協力をいただいたからです。

今まで同様、感謝の気持ちを持って、人の恩を大切に、人と人との繋がりを大事にし、初心を忘れずに、これからも挑戦を続けながら、社会貢献に努めてまいります。

はたはた一匹寿司レシピ		分量を守ってください	
材 料	分量		
はたはた （頭と内臓を取り除いた状態）	10kg		
並塩	660g （はたはたの重量に対して6.6%の量）		
八峰白神塩もろみ	340g （はたはたの重量に対して3.4%の量）		
5倍酢（360cc入り瓶）	4本		
お米	一升		
麴	300g		
本みりん	360cc		
人参（大）*千切りにしたもの	2本		
ショウガ*千切りにしたもの	3本		
ふのり（10g）	2袋		
笹の葉	適量		

■編集部から  
白神カルチャールーム所長の池田忠男さんは、地場産の大根を活用した「大根ジャム」と「大根あんこ」の商品開発に取り組んでいる。その試食会が地元の八峰町で開催されたとして、秋田さきがけ新聞（2015年4月20日号）で紹介された。

ジャムとあんこの作り方は、  
①蒸し大根、人参、リンゴをフードプロセッサーにかける。  
②それらを搾って裏ごしする。  
その後  
A) ジャムは、グラニュー糖とリンゴ酢を混ぜて加熱殺菌する。  
B) あんこは、砂糖、リンゴ酢、塩（八峰町産）を加えて加熱殺菌する。

（株）光風舎では、今後改良を行ってできるだけ早い時期に商品化したいという。



八峰町関東ふるさと会

# 第6回総会・懇親会 スナップ

2014年11月16日(日) 於アルカディア市ヶ谷



芦崎議長のあいさつ



加藤町長のあいさつ



神馬会長のあいさつ



雄島花火大会PR活動



おらほの館・商工会の物産販売



大人気のきりたんぼ鍋にできた行列



土産の袋詰めに奮闘中





今年も会えました②



今年も会えました①



今年も会えました④



今年も会えました③



恩師を囲んで



美神ひろしさん熱唱



素人も負けじと熱唱



抽選会、会長賞ゲット



加藤町長と一緒に



ふるさと納税で  
八峰町を  
応援しよう

地方公共団体に寄附をした場合に、個人住民税・所得税が一定額まで控除される、いわゆる「ふるさと納税制度」。

八峰町では、ふるさと八峰の未来を応援いただける方がたからの寄附金を積み立てる「ふるさと八峰応援基金」を設け、決められた目的に沿って有効に活用しています。

「ふるさと八峰応援基金」の使い道

- ◎ふるさとの父・母・親戚へ ～笑顔があふれるやすらぎのまち～
- ◎海と山と人が元気に ～豊かな自然と共生するまち～
- ◎これがおらほの自慢 ～地域の伝統や文化の継承に向けて～

申し込み・問合せ先／八峰町企画財政課 電話 0185-76-4603  
E-mail／kikaku@town.happou.akita.jp

納税金額に応じて  
町の特産品を  
プレゼント



いざ出陣!! ～市町村対抗駅伝団結式～

広報はっぼうでみる

## 八峰町の出来事

広報「はっぼう」のお申し込みは

八峰町役場企画財政課まで

TEL. 0185-76-4603 FAX. 0185-76-2113

年間購読 2000円(毎月1回発行)



雪の舞う中、着物姿で厄払い ～白瀑神社～



いよいよ小学校生活がスタート ～八森小学校入学式～



地域の安全を守るために ～八峰町消防操法大会～



色鮮やかな彩り ～雄島花火大会～



# 首都圏で行われる八峰町の催し物案内

## ■秋の首都圏PR

- 期日：平成27年10月2日（金）～10月4日（日）  
10:00～16:00
- 場所：阿佐ヶ谷南口商店街  
JR中央線、阿佐ヶ谷駅下車、徒歩1分
- 内容：果物、キノコなど試食・予約販売

## ■秋田・鳥取 うまいぞ! ハタハタ フェスティバル

- 期日：平成27年12月5日（土）～12月6日（日）  
10:00～16:00
- 場所：築地本願寺広場  
東京メトロ日比谷線「築地」駅下車、徒歩1分
- 内容：しょっつる鍋、メンチカツなどのハタハタ料理、  
秋田・鳥取名物料理など販売

## ■冬の首都圏PR

- 期日：平成27年12月18日（金）～12月20日（日）  
10:00～16:00
- 場所：阿佐ヶ谷南口商店街  
JR中央線、阿佐ヶ谷駅下車、徒歩1分
- 内容：ハタハタの試食と予約販売



昨年のハタハタフェスティバルでのハタハタしょっつる販売

## 首都圏秋田県人会 連合会行事案内

### ■第54回芸能大会

- 期日：平成27年10月12日（月・祝）10時開演  
入場無料、申し込み不要
- 会場：豊島区公会堂（みらい座いけぶくろ）  
JR山手線 池袋駅東口 徒歩5分
- 内容：民謡、歌謡、舞踊などの披露

### ■平成27年度文化部講演会

- 期日：平成27年11月25日（水）16時開演
- 会費：1,000円
- 会場：アルカディア市ヶ谷  
JR中央線 市ヶ谷駅 徒歩2分  
地下鉄有楽町線、新宿線 市ヶ谷駅 徒歩2分
- 講師：浅利 香津代  
（プロフィール）  
秋田市出身、日本大学芸術学部卒、新劇の第一次・第二次新人会、劇団前進座を経て現在はフリー。舞台、映画、テレビに多数出演
- 懇親会（希望者のみ）：講演会終了後、同会場  
別途会費6,000円
- 申込み先：八峰町関東ふるさと会副会長 麻木（あさき）  
電話03-3859-3660



産地形成促進施設

## 「おらほの館」

旬の野菜がどっさり  
地方発送も  
いたします。



「新鮮・旬・野菜と特産の石川そば処」

〒018-2509

秋田県山本郡八峰町峰浜沼田字沼田ホンコ谷地147-6 道の駅となり

TEL・FAX 0185-76-4649

mail : orahonoyakata@shirakami.or.jp



四季の語らい、  
くつろぎのひととき。



BANQUET 宴会・会議  
ACCOMMODATION 宿泊  
RESTAURANT レストラン

アルカディア市ヶ谷  
私学会館

JR線・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線) 市ヶ谷駅 徒歩2分  
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25  
TEL 03-3261-9921 FAX 03-3261-7760

<http://www.arcadia-jp.org>

秋田料理

各種御宴会の  
御予約承ります。

酒香童子

ひ てん どり び



〒131-0032  
東京都墨田区  
東向島4-43-10  
TEL.03-3619-1676

スカイツリーの  
お隣元

スカイツリーきりたんぼ



所 東京 ホルモコ  
サカイ食堂

東京都墨田区東向島2-15-3  
TEL.03-3616-8929  
<交通>東武伊勢崎線「曳舟駅」より徒歩1分

所 秋田 秋てん  
あきや

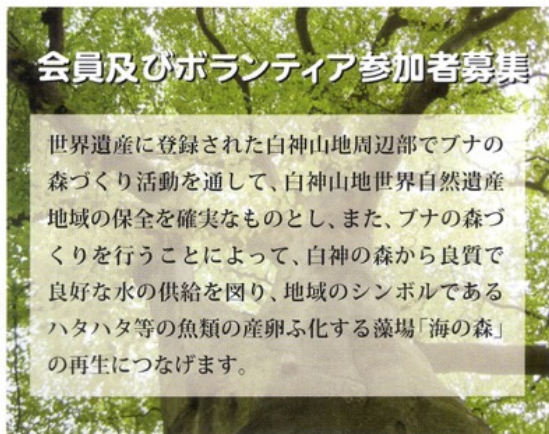
東京都台東区駒形2-13 AMビル1F  
TEL.03-5830-3882  
<交通>都営浅草線「浅草駅」A2出口より徒歩2分  
東武スカイツリーライン「浅草駅」徒歩7分

所 墨田 地蔵院  
サカイ鳥之助

東京都墨田区東向島2-11-21  
TEL.03-3612-4129  
<交通>東武伊勢崎線「曳舟駅」より徒歩2分

NPO法人  
白神ネイチャー協会

白神ネイチャー協会の活動内容、入会申込等につまましては、下記までご連絡ください。



会員及びボランティア参加者募集

世界遺産に登録された白神山地周辺部でブナの森づくり活動を通して、白神山地世界自然遺産地域の保全を確かなものとし、また、ブナの森づくりを行うことによって、白神の森から良質で良好な水の供給を図り、地域のシンボルであるハタハタ等の魚類の産卵ふ化する藻場「海の森」の再生につなげます。

ブナ苗の里親を募集しています！！  
白神山地 植えようブナを、育てようあなたの心

白神ネイチャー協会事務局

■TEL:0185-70-4211 ■FAX:0185-70-4214

■URL <http://www.shirakami.or.jp/~asna/index.html>

小物農機レンタル! (レンタル機につきましては、1日以上とさせていただきます。)

背負動機 噴霧用	1日3,000円	2台	溝切機 乗用、ほか	1日5,000円	2台
動力散布機 粉と粒	1日3,000円	2台	管理機 耕500mm	1日3,500円	3台
エンジンポンプ φ25mm	1日2,000円	3台	高速洗浄機 エンジン付	1日3,500円	1台
刈払機 背負・肩掛	1日3,500円	5台	発電機 100V、3相12A	1日3,500円	1台
チェーンソー 中 型	1日3,500円	3台	ウイングモア φ700mm	1日4,500円	1台
ハイス射オーガー φ35mm	1日3,500円	1台	スプレッター 手 押	1日2,000円	1台

農家のパートナー  
小物農機・販売サービス **AV アシザキ NOUKI**  
〒018-2504 山本郡八峰町峰浜石川字外林33-21 TEL・FAX 0185-76-2884

病院からもらった処方箋の事など、  
お薬のことなら専門の薬剤師が丁寧に説明をいたします。



LINUS PHARMACY

ライナス薬局

TEL.0185-70-4160

FAX.0185-70-4170 八峰町八森字古屋敷13-6

月～土 / 朝8:00～夜7:00  
休日 / 日・祝日



秋田・味めぐり一番所  
はちもり



(ハタハタ入り焼きかまぼこ・鱈ずし) 発送承ります!!

⊕ (株)鈴木水産

☎ 0120-022170 FAX 0185-77-3601

HPは「鈴木水産 秋田」で検索!  鈴木水産 秋田

<http://www.suzuki-suisan.co.jp/>

白神山地の天然湧水仕込だけで  
酒造りを行なう全国で唯一の蔵元



白瀑

八峰町八森字八森269

TEL/0185-77-2311 FAX/0185-77-2312

ふるさとの味と香り、おいしさそのまま贈ります。



秋田名物  
きりたんぼセット

10月上旬から  
2月下旬まで  
発送いたします。

申し込みご予約は

TEL.0185-76-2529 FAX.0185-76-3156

〒018-2507

秋田県山本郡八峰町峰浜田中宇大土面 17 レストラン 峰

ホームページ <http://www.shirakami.or.jp/~mine/>

昔懐かし、ふるさとの味

おやき



セキトの「おやき」は9月上旬から翌年3月下旬までの「季節商品」です。  
八峰町へお戻りの際は、是非「焼き立て」をお召し上がりください。



株式会社 セキト

●上町本店 〒016-0817 能代市上町12-2

[www.sekito.net](http://www.sekito.net)

TEL.0185-54-3131

地方発送のご注文はこちらへ

FAX.0185-54-2433

日本海と白神山地が出逢う宿 海の幸たっぷりのお料理とあったかい温泉で  
心と体を癒してください



ご  
宿  
泊

- 美しい景色を一人占め
  - 特別な時間をゆったりと過ごす
- 八森いさりび温泉

ハタハタ館

ホームページ: <http://www.hatahatakan.jp/>

秋田県山本郡八峰町八森字御所の台51番地

TEL: 0185-77-2770(代)



# 地域と共に!



**Panasonic** エルポートシロキ

八峰町八森字中浜 TEL 77-2323・FAX 77-2324

子どもに夢を! 誇れる郷土を!  
地域に活力を!

## 第30回雄島花火大会

8月15日打ち上げ(毎年)

雄島花火実行委員会

委員長 諸沢 英紀

白神の海と大地の夢を育む

## 白神八峰商工会

会長 大森 三四郎

秋田県山本郡八峰町八森字中浜41-3  
TEL:0185-77-3161 FAX:77-3008



### あわびの里づくりまつり

平成28年8月上旬開催予定

☆参加者には2年後に「あわび」をお送ります。

♪～カラオケサロン～♪

## 水 沢

【営業時間】

昼(カラオケ) 正午～午後5時

夜(スナック) 午後7時～午後11時

【定休日】水曜日

能代市東町3-1 田村ビル ☎0185-54-1770

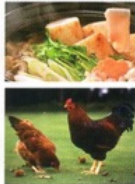
笠原均・いさ子

♪皆様のご来店お待ちしております♪



東京駅八重洲北口改札から徒歩1分。駅構内に新開店!!

秋田比内地鶏生産責任者の店 **本家あべや**



東京駅北町ダイニング店

月～金 11:00～23:00 (L.O.22:00)

土日祝 11:00～22:00 (L.O.21:00)

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-9-1

東京駅八重洲北口2F

北町ダイニング内

tel: 03-6256-0518

◆本家あべや店舗のご案内◆

【神楽坂店】 tel: 03-5225-2664  
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂3-2-40 codocoビル1F

【秋田店】 tel: 018-825-1180  
〒010-0001 秋田県秋田市中通1-43 エリアなかい51F

【KITTE GRANCHÉ店】 tel: 03-6256-0822  
〒100-7090 東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー-KITTE B1

【静岡店】 tel: 054-260-7095  
〒420-0852 静岡県静岡市駿河区藤原3-1 CROSSDINE 8F

本券を所持いただくと秋田日本酒又はソフトドリンクを1杯サービス致します! ※他券併用不可

## 世界遺産 白神山地の麗のゴルフ場



黒松林と日本海の風があなたのライバル

## 能代カントリークラブ

〒018-2507 八峰町峰浜田中字大土面18

TEL: 0185-76-3311 FAX: 0185-76-3009

ご来場のみなさまへ、笑顔の「おもてなし」でご案内。

## 能代市新山前 建学会 好評開催中!

ウッドデッキ&フェンスで  
6番目の部屋を実現!



和と洋が調和した  
一度見たら住みたくなる家



木炭&ひば&珪藻土パワー!

暖かくなるなる  
夏の大工み

http://www.takajuu.co.jp

信頼の証 建築士の選りすぐれた設計です

高田住宅工業株式会社

ISO9001:2008取得 顧客の喜ぶ家を創ることを経営の理念とし、誠実に建築する

宅地建物取引業 秋田県知事免許(9)1047号

本社/能代市昭南町7-1

TEL 0185-54-6518 FAX 0185-55-0750

不動産部/能代市昭南町7-1

TEL 0185-74-5044 FAX 0185-74-5043

峰浜本店/山本郡八峰町峰浜高野々字高野々43-1

TEL 0185-76-3493 FAX 0185-76-2186

秋田支店/秋田市八橋大沼町15-10

TEL 018-896-7773 FAX 018-896-7774

www.takajuu.co.jp




秋田料理  
居酒屋 秋田おばこ

埼玉県川口市戸塚2-23-28  
TEL. 048-294-1856

高沢すな (八峰町出身)

-支え合おう東北-  
えがおのあなたが見たいから…

**皆川薬局** 

どちらの処方せんでもお受けします。

薬剤師 皆川鉄治・山脇一輝・北林真実  
八峰町峰浜沢目駅前 TEL.76-2052・FAX.76-2199

営業時間 8:00~18:00 / 休業日 日曜日・祝祭日

白神山地から湧き出る天然水と、地元農家の青大豆のみを使用

 究極の美味 **グリーン豆腐**

従来の豆腐より栄養価が高く  
ほんのり緑色で甘味があり、こくが深く、  
美味です。

◇◇◇◇ 松岡食品 おかげさまで創業 67 年を迎えました ◇◇◇◇

〒018-2664 山本郡八峰町八森字古屋敷 43-3  
松岡 清悦 ・ 松岡 清也  
TEL 0185-77-2024 FAX 0185-77-3646  
E-mail : info@matsuoka-foods.com

 MATSUOKA FOODS

◆◆◆ 和洋菓子舗 ◆◆◆  
八峰町のおみやげに


 カステラドーナツ  チーズブッセ

美味しいお菓子の店 **高峰堂**

八峰町峰浜塙字豊後長根 145 TEL 0120-89-2041


営業時間 7:00~19:30 不定休

あふれる緑、大地と共に輝く未来

 **秋田やまもと農業協同組合**

本 店 〒018-2104 秋田県山本郡三種町鹿渡字町後 270  
TEL:0185-87-4600(代) FAX:0185-87-4200  
代表理事組合長 阿部 隆一

八峰支店 〒018-2503 秋田県山本郡八峰町峰浜塙字豊後長根65-1 TEL:0185-76-3151(代) FAX:0185-76-3959



 八森漁行

日本海の旬の魚  
家庭へ届けます

**0185-77-2255**

 八森漁行

秋田県山本郡八峰町八森字横間 156 番地先  
秋田県漁業協同組合  
北部総括支所



# 第7回八峰町関東ふるさと会総会・懇親会案内

- 開催日:平成27年11月15日(日)
- 会場:アルカディア市ヶ谷
- 受付:11時00分～
- 総会:12時00分～12時30分
- 懇親会:12時30分～15時30分
- 懇親会費:6,000円(学生:3,000円、小学生以下:無料)
- 年会費:1,000円
- 会場へのアクセス  
 地下鉄有楽町線・南北線 市ヶ谷駅1出口  
 地下鉄新宿線 市ヶ谷駅 A1またはA4出口  
 JR中央線 市ヶ谷駅  
 ※上記出口から徒歩約2分



## 特別講演

講師:加賀 亮司

八峰町八森出身

- 公益社団法人東京生薬協会  
東京都薬用植物園事業管理委員会委員長
- 株式会社龍角散特任顧問

演題:生薬栽培と八峰町

新聞やテレビでもコマーシャルしていますが、龍角散は秋田県と八峰町の協力を得て八峰町と美郷町に漢方薬薬草を栽培する畑を作り、生薬の国産化を図っています。



これは加賀さんのご尽力の成果です。講演ではその詳細やご苦勞などお話いただく予定です。



## 特別ゲスト

おやまみつあや  
小山 貢綾(初代)

〈プロフィール〉

本名:今井綾子

八峰町田中出身

1980年、津軽三味線名手「小山貢」に師事。  
1997年～2004年まで津軽三味線全国大会で度々優勝  
2010年、小山会総師範となる。

主な演奏として、2004年東京ドームメジャーリーグ開幕戦



で吉田兄弟と競演。  
NHK番組の北島三郎、早乙女太一のバック演奏など。現在もテレビ、イベント舞台などで活躍中。

※二代目 小山貢綾(二女)も出演予定



## 編集後記

お蔭様で第6号の会報発行となりました。今年は若手新メンバーも編集に加わり、共に作業を進めることができました。恒例となりました八峰町の町長ならびに議会議長よりのご寄稿は何よりも有難く、更には産業振興課長からもご寄稿をいただき嬉しい限りでした。又、会員の方々におかれましては投稿依頼に快く応じて下さり、数々の想いを綴っていただきましたことに感謝申し上げます。ふるさとへの強い想いと絆を深く感じ取ることが出来た次第です。来年度の皆様からのご投稿を楽しみに!(北郷)

## 八峰町関東ふるさと会事務局

〒184-0001  
東京都小金井市関野町1-3-35 成田 勘一方  
TEL/FAX 042-383-0278

## 八峰町関東ふるさと会・役員一覧

会長:神馬 信一  
 副会長:麻木 固磨、内山 由子、北郷 洋子、戸田 眞里、福田 稔  
 幹事長:成田 勘一  
 副幹事長:船越 鉄実、芹田 忍  
 幹事:黒浜 茂子、丹波 テツ子、白木 仁、本多 義春、三浦 博、須藤 正喜、塚本 康子、袴田 勇樹、飯田 良子、吉江 后子  
 監査:菊地 弘美、鈴木 輝志郎  
 顧問:加賀谷 光丸、富岳 智猛、藤田 秀夫、秋山 芳輝

- 発行:八峰町関東ふるさと会
- 発行責任者:神馬 信一
- 編集委員:北郷 洋子、成田 勘一、白木 仁、内山 由子、須藤 正喜、芹田 忍